

にぎわい創出プロジェクト news

長池駅前の「ここ」を活用しませんか？

Vol.
01
2024.09



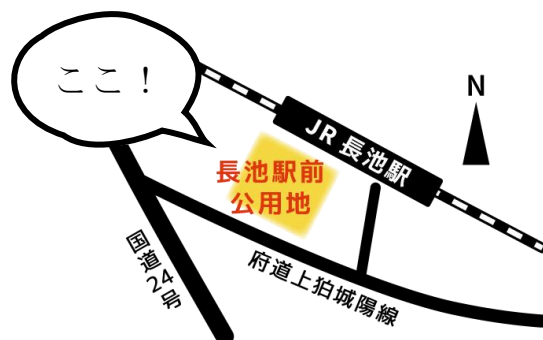
公用地の活用に向けて「社会実験」を行います！

現在、長池駅周辺のにぎわいを創出するため、駅前の公用地を活用したいと考えております。まずは、令和6年11月1日(金)～11月17日(日)に駅前の公用地をみなさんと一緒に使う「社会実験」を行うために、活用方法や、その内容を検討するワークショップを開催しています。

9月1日(日)に行った第1回ワークショップでは、14名の方に参加いただき、意見交換を行いました。昨年度に検討した駅周辺のまちづくりのコンセプトを踏まえ、駅前の公用地を使って「何をしたいか」を2グループに分かれて意見交換した後、グループごとに出たアイデアを全体に発表しました。

第1回の概要

- 日時:令和6年9月1日(日)14～16時
- 場所:長池公会堂
- プログラム
 - はじめに・ワークショップの流れ説明
 - 昨年度の取組みについて
 - 今日のワークショップの進め方と情報提供
 - 意見交換
 - 発表・情報交換





ワークショップの内容

グループごとに大きな白紙を広げ、駅前周辺でしたいコト、やってみたいコトについて、昨年度のコンセプトをもとに、意見交換を行いました。



グループ A：日常的にもイベントでも利用できる駅前空間を模索

「いろいろな地域から、老若男女問わず気軽に集まれるような場所づくり」をキーワードに意見が多く出されました。

具体的には、住民が飲食物を各自で持ち寄って交流を深める「だれでもカフェ」「サロン」などの日常的に気軽に開催することが出来るイベントの案が多く出されました。また、これらの案以外にも、地域住民だけでなく、駅利用者も日常的に利用しやすい「キッチンカー」や「出店」、老若男女問わず様々な世代間で交流するきっかけを生み出す「昔遊び」や「ラジオ体操」・「たき火で焼き芋」などのアイデアも出されました。



グループ A の意見

■グループ A のキーワード

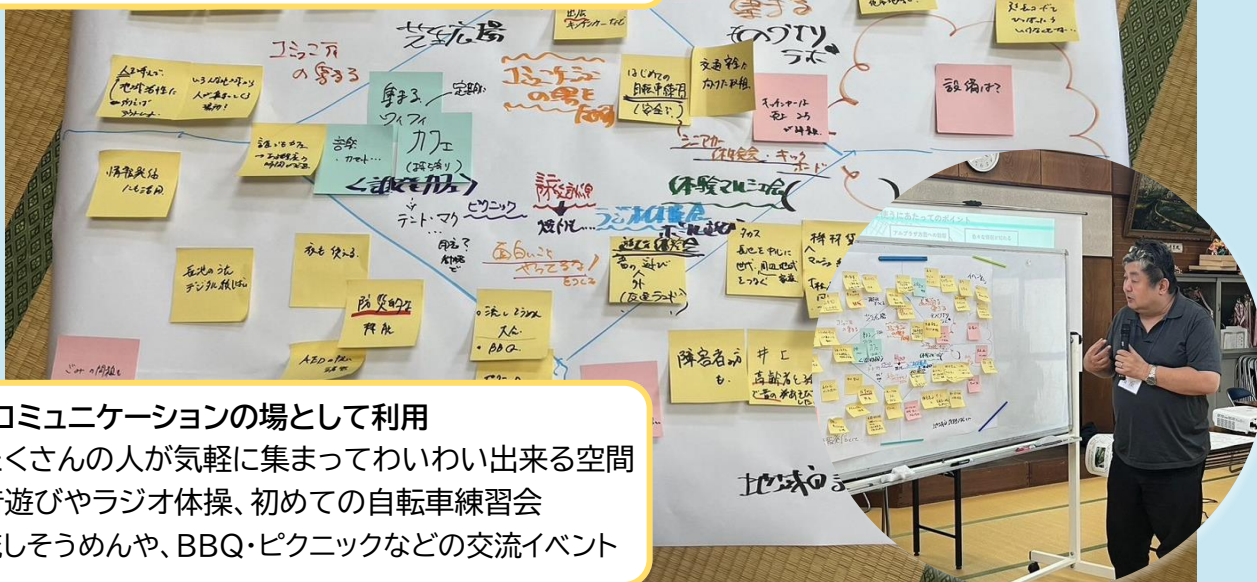
- ・いろいろな地域から、老若男女問わず気軽に集まれるような場所づくり
- ・日常でもイベント時も利用できる駅前空間

■日常的に利用

- ・誰でもカフェやお茶会、サロンなどを日常的に開催
- ・キッチンカーや出店などを定期的に出店

■イベントとして利用

- ・マルシェやモノづくりワークショップの開催
- ・舞台を作って発表会などのイベント
- ・ターゲットを長池の住民だけに絞らずに、様々な地域から参加してもらう。外国人の方にも



■コミュニケーションの場として利用

- ・たくさんの人が気軽に集まってわいわい出来る空間
- ・昔遊びやラジオ体操、初めての自転車練習会
- ・流しそうめんや、BBQ・ピクニックなどの交流イベント

グループ B：美しい街道の活用を軸とした大人も子供も楽しめる駅前

長池を通る大和街道の美しさに着目して、街道を活用しながら駅前周辺の賑わい向上させる視点で意見交換がなされました。

マルシェ・キッチンカーや古本市、ひな人形やお花の展示など、街道の雰囲気に見合うようなイベントを開催したいという意見が出されました。また、街道を歩いてもらうためにスタンプラリーを企画するなどの案も見受けられました。

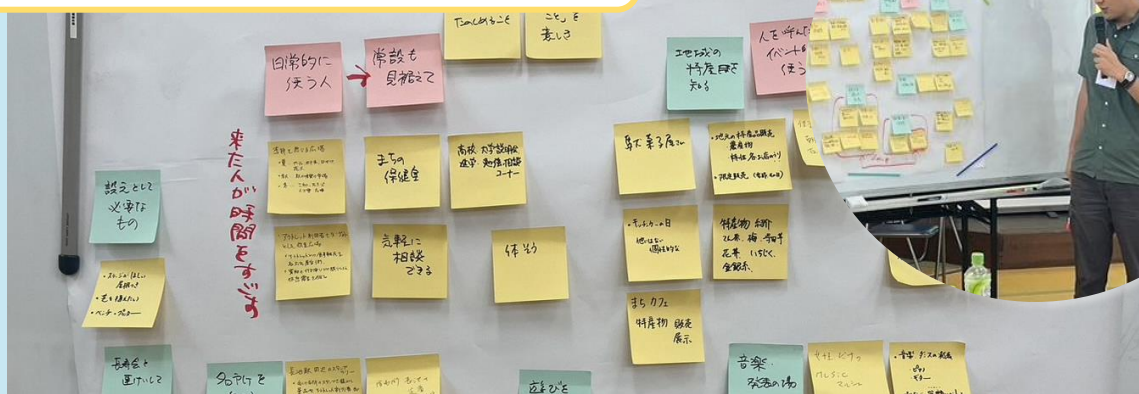
他にも、「ボードゲーム大会」や「働く車の展示」「クイズ大会」など、幅広い世代の方々が楽しめるイベントの企画も提案されました。



グループ B の意見

■グループ B のキーワード

- ・長池の美しい街道を活用したまちづくり
- ・子供から高齢者まで幅広い世代が楽しめる駅前空間



■日常的に利用

- ・ステージを常設して発表会
- ・長池駅周辺のスタンプラリー
- ・昔遊びの伝承広場
- ・芝生を植える
- ・マチカフェ(特産物の販売・展示)
- ・季節を感じられる広場
(プール、かき氷、秋の味覚市場、こたつ等)
- ・屋根を設置して、日陰を作成

■イベントとして利用

- ・ナイトマーケットの開催、珍しい食事で SNS 映えを狙う
- ・地域のひな人形展示
- ・音楽やダンスの発表、皆が笑顔になれるように
- ・地元の特産品販売
- ・中学校、高等学校や大学の説明会
- ・「消防車」「パトカー」などの働く車の展示・撮影会



第1回ワークショップ後の意見

第1回ワークショップの最後に、振り返りアンケートを実施しました。

○本日のワークショップで言い足りなかったこと、気づいたこと

- ・まちづくりをする際には、お金・安全責任、そしてマンパワーが付きまとうことを痛感した。
- ・40歳～60歳の年齢層の意見だけでなく、もう少し若い人の意見も必要なのでは？
- ・参加者の方々の貴重で新鮮な意見が聞けてとても良かった。非常にワクワクしています。
- ・皆さんの熱い思いが伝わってきた。何かしらの役に立ちたいと思っています。
- ・出たアイデアを、11月の社会実験の時に試験的に行うということですが、準備期間が少ないように感じます。

○長池駅周辺及び公用地に期待すること

- ・自分たちで育てる広場を目指していきたい
- ・地域に暮らす人達が主体的に関わっていけるような場所になればいいと思う。
- ・ワクワクが止まりません。
- ・広場には屋根などの日よけの場所があれば良いと思う。また、音楽発表などが出来るステージも欲しい。
- ・宿場街や大和街道など、長池の歴史が定着するような仕掛けを作ってほしい。

○アイデアを実現する具体的なアクションは？

- ・スタートアップ企業を巻き込んで飲食イベントなどを実施していく。
- ・地元の中学生や高校生、大学生にも使ってもらいたい。
- ・道の駅やマルシェ等を企画する他団体との連携を考えてみるのは？

○昨年度のニュースのバックナンバー等が確認できます！

長池駅前 公用地 ワークショップ

検索



URL : <https://www.city.joyo.kyoto.jp/0000009567.html>

次回以降のご案内

ワークショップは下記の日程で開催します。「2回目からでも参加してみたい」という方のご参加も歓迎です。また、まわりで長池駅周辺のことについてご関心をお持ちの方がおられたらぜひお誘いください。いずれも、城陽市都市政策課までお問い合わせください。

■第2回：令和6年10月12日（土）14～16時
テーマ：使い方・過ごし方を考えよう

第1回で出し合ったアイデアを元に、駅前の公用地の具体的な「使い方・過ごし方」を考えてみましょう。

■第3回：令和7年1月18日（土）14～16時
テーマ：ふりかえり会

■社会実験：
令和6年11月1日（金）～11月17日（日）

社会実験期間中は、長池駅前の公用地を仮設広場として開放します！

また、11月9日（土）～11月10日（日）には、ワークショップで考えたアイデアを実現させる予定です～！



発行

城陽市 都市整備部 都市政策課 駅周辺整備係
TEL:0774-56-4070 Mail:toshiseisaku@city.joyo.lg.jp

